

**杉並区の将来人口推計について
(平成 30 年 (2018 年) 時点での推計)**

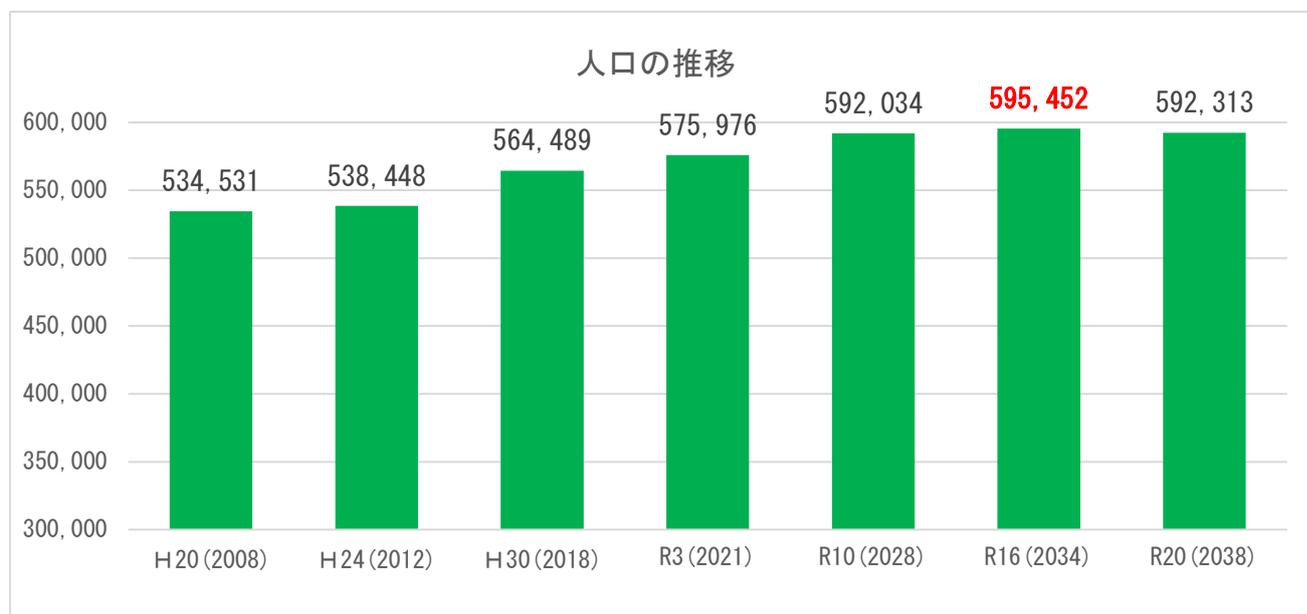
杉並区基本構想審議会

1 推計方法等の概要

推計方法		コーホート要因法を基礎
基準人口		杉並区の住民基本台帳登録人口（平成 30（2018）年 1 月 1 日時点）
仮 定 値	出生率	平成 29 年（2017 年）の杉並区の合計特殊出生率（1.01）
	出生男女比	東京都の出生男女性比（平成 23 年（2011）～平成 28（2016）年の平均値〔105.0〕）
	生残率	「平成 27 年都道府県別生命表（東京都）」・「平成 28 年簡易生命表」（厚生労働省）
	移動	平成 25 年（2013 年）～平成 29 年（2017 年）の杉並区外地域との転入・転出実績

2 総人口

現基本構想を策定した平成 24 年（2012 年）から平成 30 年（2018 年）までに 2 万 6 千人増加し、平成 30 年（2018 年）1 月 1 日時点では 56 万 4 千人となっています。人口の増加傾向は今後もしばらく続き、基本構想の目標年次である令和 3 年（2021 年）には 57 万 5 千人に達し、その後、令和 16 年（2034 年）に 59 万 5 千人でピークを迎えた後、減少に転じて令和 20 年（2038 年）には 59 万 2 千人となる見込みです。



注 1 各年 1 月 1 日時点の数値（外国人を含む）

注 2 平成 20 年（2008 年）～30 年（2018 年）は実績値であり、令和 3 年（2021 年）以降は推計値

注 3 平成 24 年（2012 年）と令和 3 年（2021 年）は、基本構想の始期と終期の年

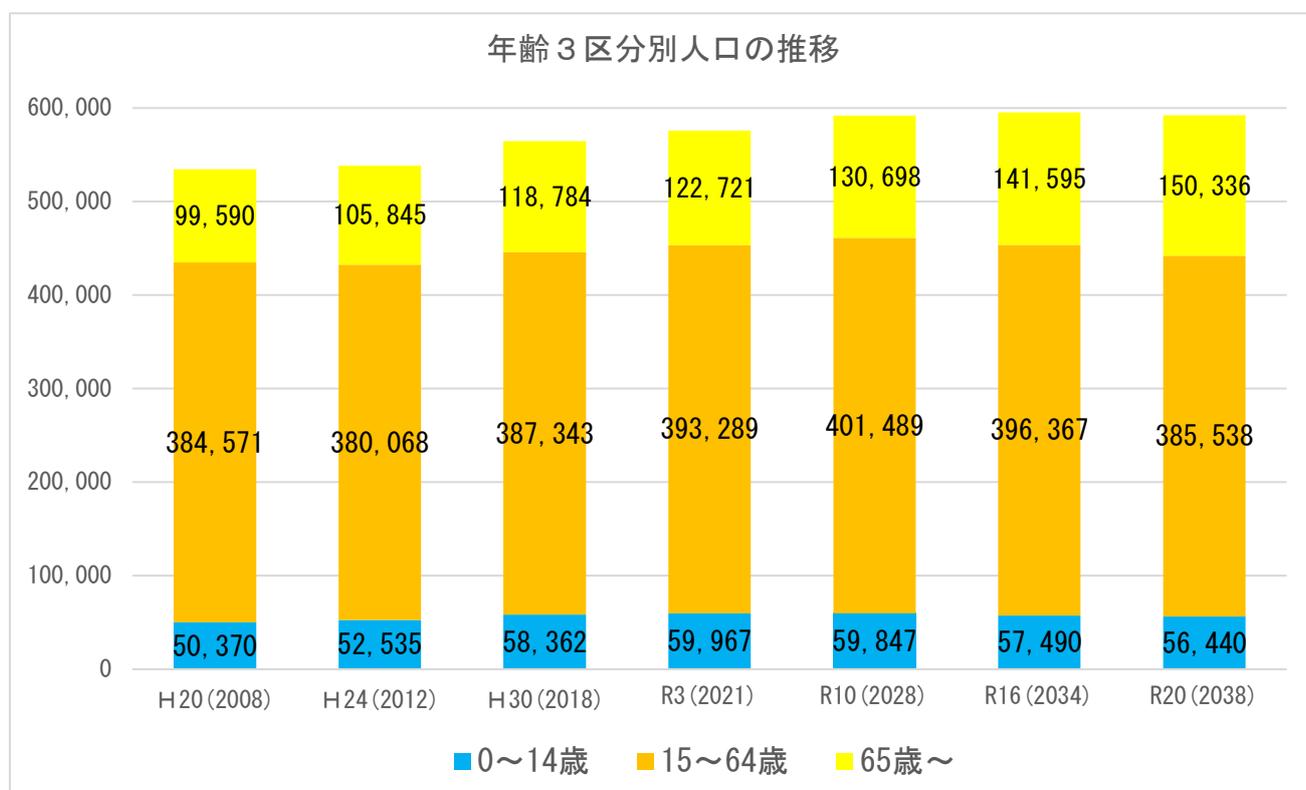
注 4 令和 16 年（2034 年）は、推計人口がピークに達する年

3 年齢3区分別人口

〔年少人口（14歳以下）〕 平成30年(2018年)時点で58,362人(10.3%)の年少人口は、数年間微増傾向が続くものの、減少に転じ、令和20年(2038年)には56,440人(9.5%)となる見込みです。

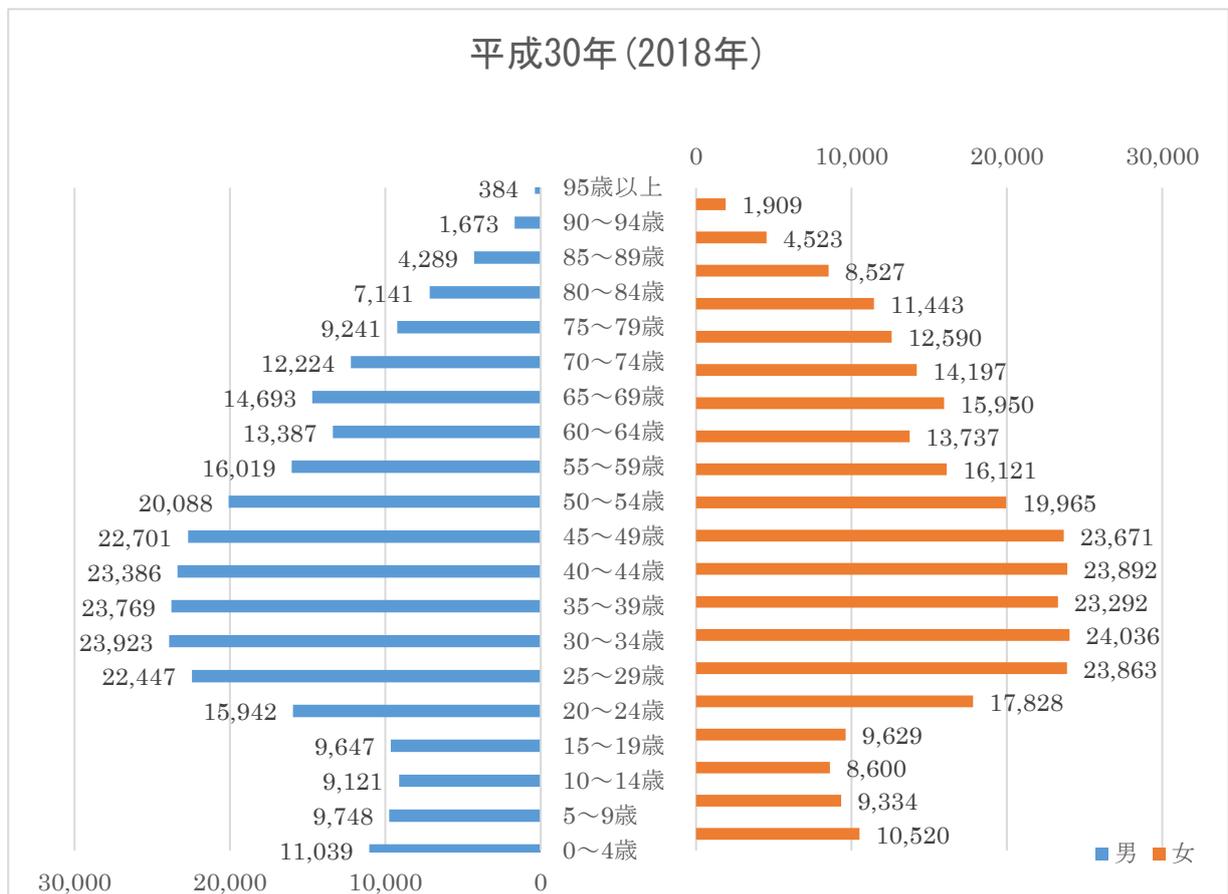
〔生産年齢人口（15～64歳）〕 平成30年(2018年)時点で387,343人(68.6%)の生産年齢人口は、今後増加し続けた後、減少に転じ、令和20年(2038年)には385,538(65.1%)となる見込みです。

〔老年人口（65歳以上）〕 平成30年(2018年)時点で118,784人(21.0%)の老年人口は、今後一貫して増加し続け、令和20年(2038年)には150,336人(25.4%)となり、20年間で3万人以上増える見込みです。

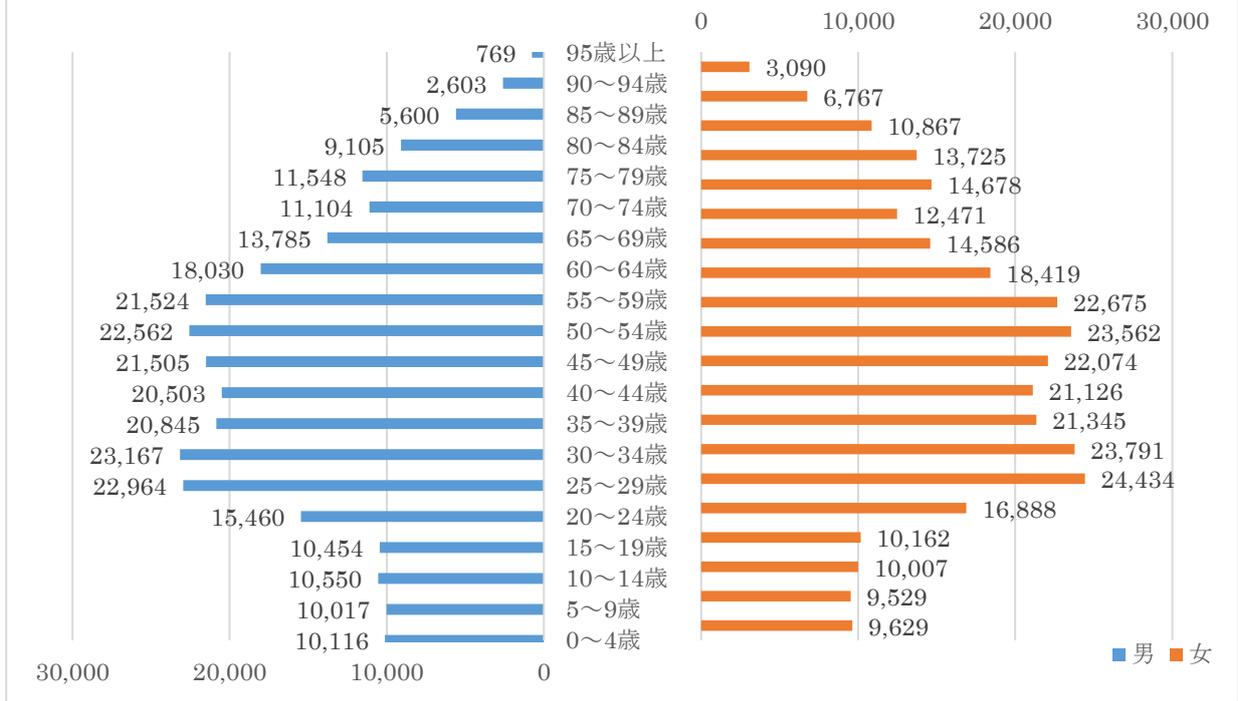


4 5歳階級別人口構成の変化

- 区の人口を5歳階級別で見ると、平成30年(2018年)では、30～34歳が47,959人で最も多く、次いで40～44歳の47,278人、35～39歳の47,061人の順となっています。
- これを20年後の令和20年(2038年)の推計値で見ると、25～29歳が44,294人で最も多く、次いで30～34歳の44,123人、35～39歳の42,554の順になると見込まれます。
- 20年間における年齢階級別人口の増減を見ると、増加するのは、60～64歳の14,672人が最も多く、次いで55～59歳の8,845人、65～69歳の8,053人となっています。また、減少するのは45～49歳の7,764人が最も多く、次いで40～44歳の6,481人、35～39歳の4,507人となっています。



令和10年（2028年）



令和20年（2038年）

